

神津島の火山活動解説資料（令和8年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1）

前浜南東監視カメラ（天上山の南西約3km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

・ 地震や微動の発生状況（図2－①②、図3）

地震活動は低調に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

なお、16日03時17分に新島・神津島近海で発生した地震（マグニチュード2.4）により、神津島村で震度1を観測しました。

・ 地殻変動の状況（図2－③～⑥、図4）

地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。



図1 神津島 天上山山頂部の状況（9月22日、前浜南東監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和8年10月分）は令和8年11月10日に発表する予定です。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警戒等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『基盤地図情報』『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』及び国土交通省発行の『国土数値情報』を使用しています。

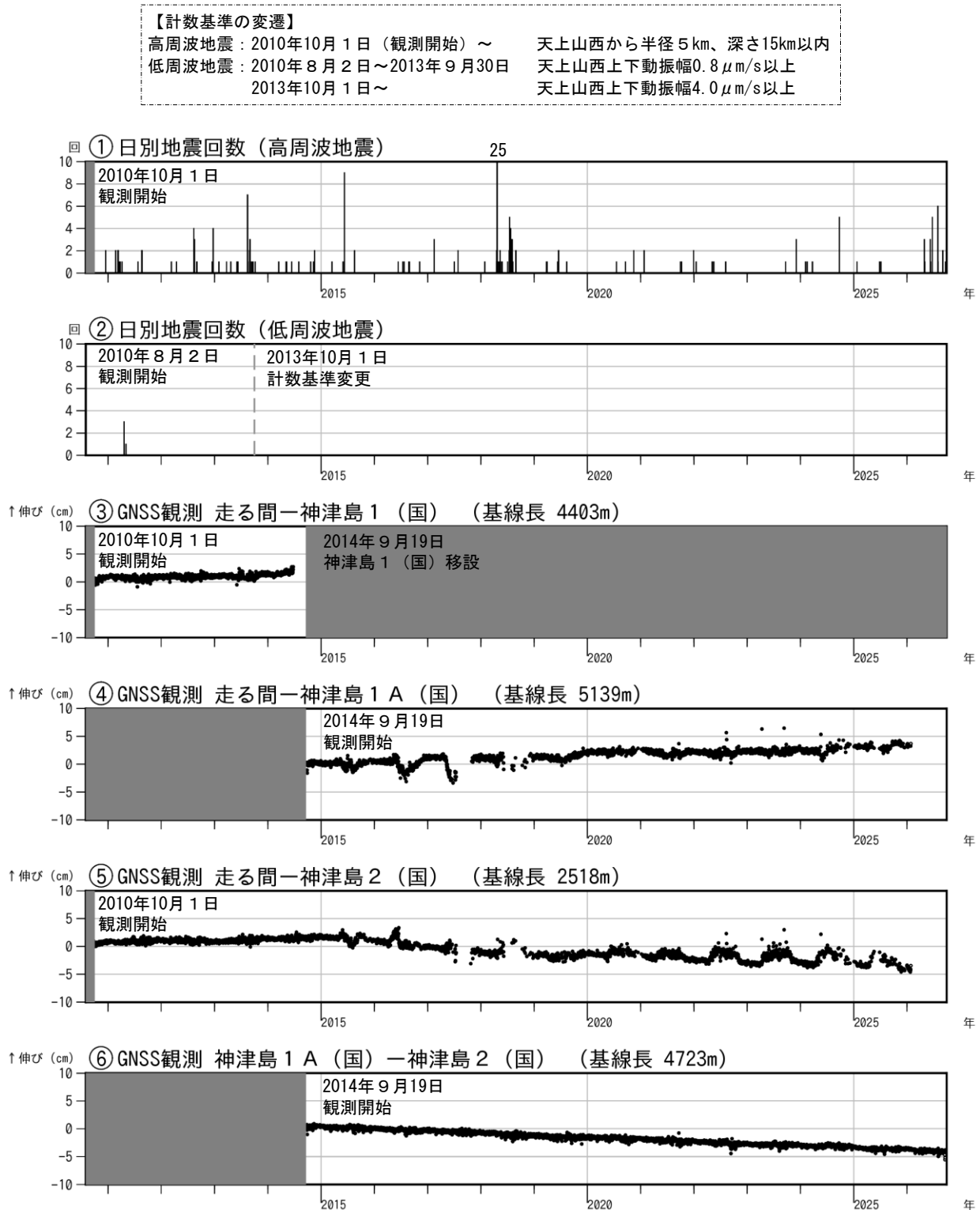
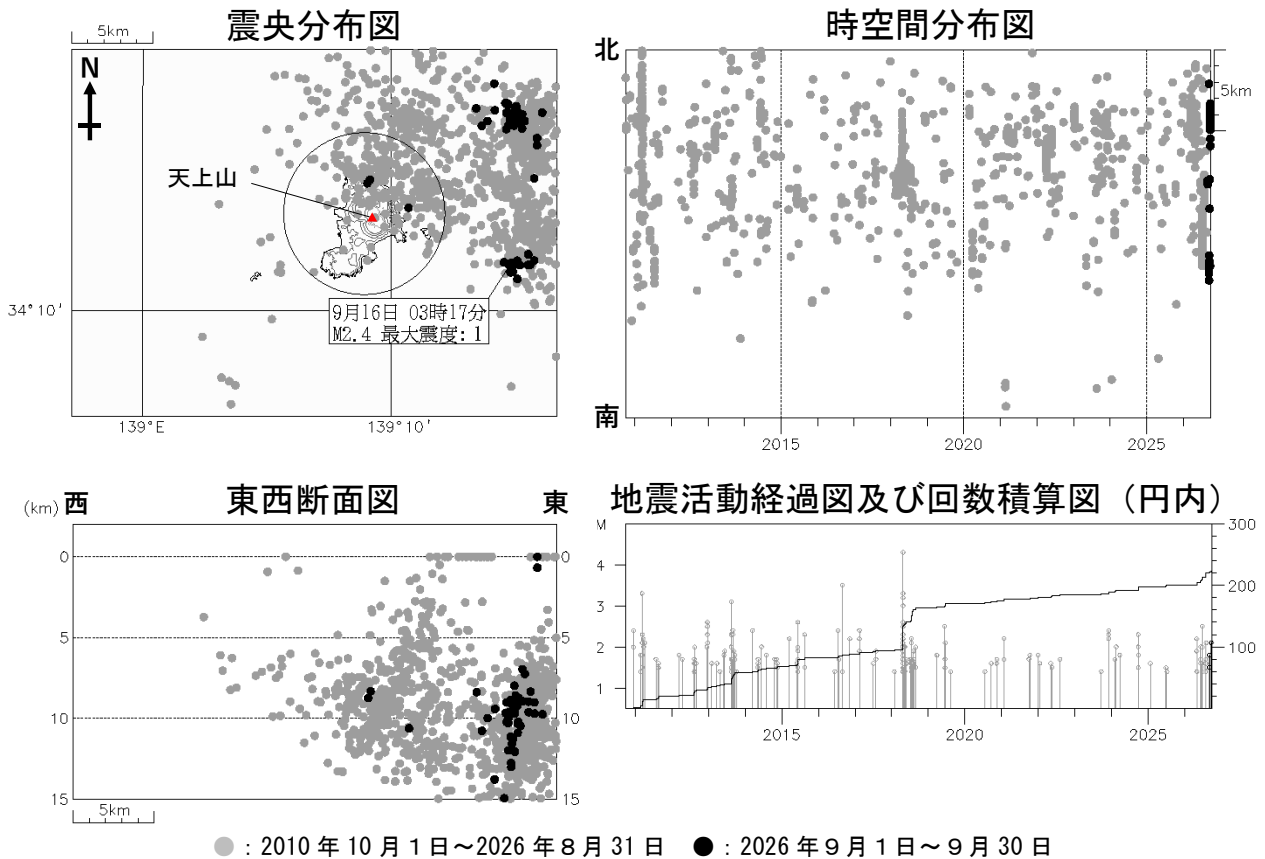


図2 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2026年9月30日)

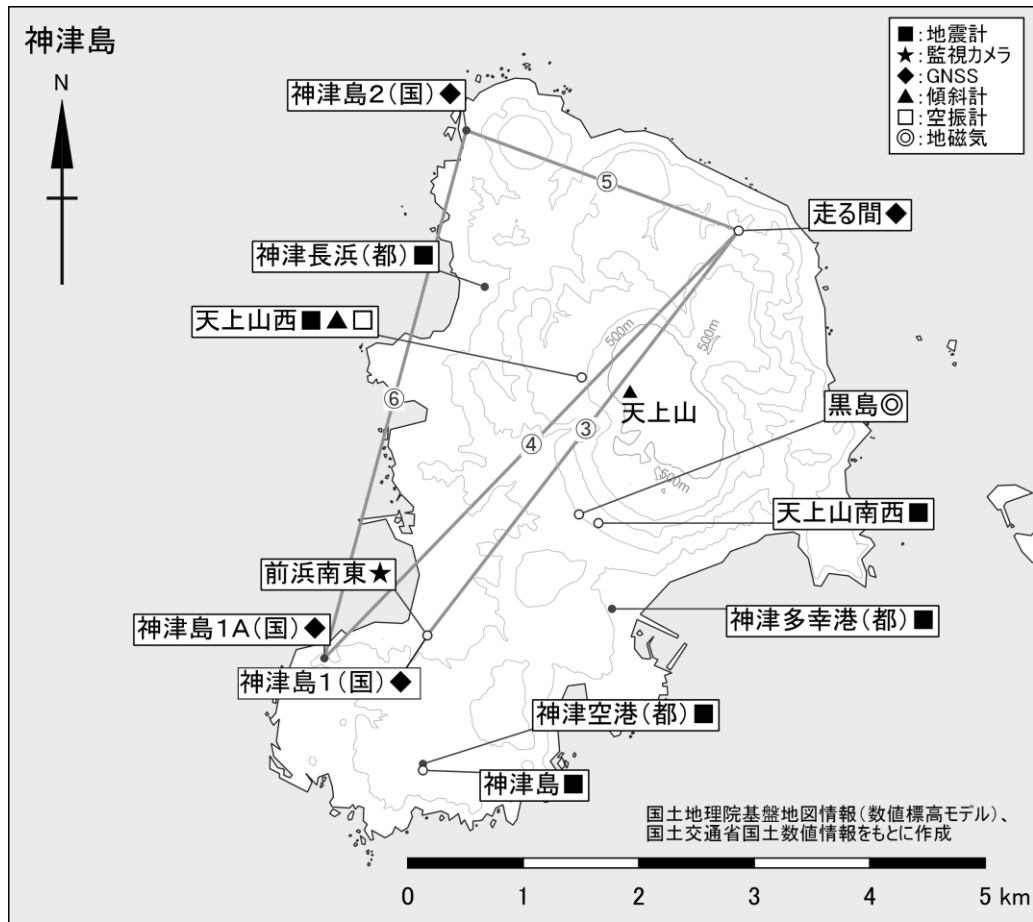
①、③～⑥：灰色部分は観測期間外を示します。
 ③～⑥：図4のGNSS基線③～⑥に対応しています。空白部分は欠測を示します。
 ④、⑤：走る間観測点付近の植生による影響により、周期的な変動がみられます。
 2014年9月19日に、神津島1（国）は、神津島1 A（国）に移設されました。
 データの解析方法を2010年10月及び2016年1月に変更しています。

（国）：国土地理院

- ・地震活動は低調に経過しました。
- ・GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。



- 図3 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2010年10月1日～2026年9月30日）
- 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020年9月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しています。
- M（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を示しています。
- 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- 計数対象（天上山西から半径約5km、深さ約15km以内）以外の地震が含まれるため、図2-①の日別地震回数（高周波地震）とは異なります。
- 震央分布図中の円は火山性地震の回数の計数対象（天上山西から半径5km、深さ15km以内）の範囲を示しています。
- ・地震活動は低調に経過しました。
 - ・16日03時17分に新島・神津島近海で発生した地震（マグニチュード2.4）により、神津島村で震度1を観測しました。その他の観測データには、この地震に伴う特段の変化は認められませんでした。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国): 国土地理院、(都): 東京都

図4 神津島 観測点配置図

GNSS 基線③～⑥は図2の③～⑥に対応しています。
神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設。